

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・健康ふれあいマラソン大会を開催
- ・ミニバレーウインターリーグのお知らせ
- ・厚真シンポジウムが開催されました
- ・就学時健診のご案内
- ・「情報メディアの利用」に関するアンケート結果について
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

## 体育の日 健康ふれあいマラソン大会を開催

10月12日体育の日の祝日にスポーツセンター周辺を会場に「第16回健康ふれあいマラソン大会」が開催され、約170人が参加しました。当日は秋晴れとなり、参加者は家族や友人とマラソンやウォーキングを楽しんでいました。各部門の1位の記録は次のとおりです。

◆小学生の部（3km）

【1年生男子】赤間 永彪 19分05秒	【1年生女子】中島 花奏 22分13秒
【2年生男子】真野 薫 16分30秒	【2年生女子】西村 結衣 16分43秒
【3年生男子】藤樫 悠人 13分51秒	【3年生女子】沼田 咲羽 16分42秒
【4年生男子】渡邊 悠良 13分51秒	【4年生女子】張石 夏帆 13分21秒【大会新】
【5年生男子】奥井 啓太 13分30秒	【5年生女子】西村 優菜 15分29秒
【6年生男子】石崎 竜牙 12分37秒	【6年生女子】藤田 李望 13分36秒

◆中学生の部

【男子】（5km）奥井 宣哉 19分48秒	◆一般の部	【男子】（5km）佐藤 力 17分52秒
【女子】（3km）尾谷 琴音 12分51秒		【女子】（3km）大宮 貴子 18分01秒



## 第24回ミニバレーボールウインターリーグ 参加者募集!

毎年恒例のミニバレーボールウインターリーグを開催します。  
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- と き 平成27年11月29日 日曜日  
午前9時00分 開会式 午後4時00分頃 終了予定
- と ころ 厚真町スポーツセンター
- チーム編成 メンバー構成は自治会、職域、学校等自由です。  
チームメンバー8人まで登録が可能ですが、他のチームとの二重登録はできません。  
Aリーグ：男女混合  
Bリーグ：女性のみ又は40歳以上の男女混合（常にコート内に女性1名はプレーすること）
- 参加対象 中学生以上の町民及び町内に職場を有する方
- 参加申込 11月13日【金】までに下記宛に参加申込書を提出してください。
- 申込・問合せ 厚真町スポーツセンター（生涯学習課社会教育グループ）☎27-3775

# 「情報メディアの利用」に関するアンケート結果について

厚真町教育委員会では、学校やPTAと連携を図りながら、児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動に取り組んでいます。この向上運動では、厚真町の基本ルール「4つの柱」を立てて、携帯電話やスマートフォン（以下「スマホ」）などの利用に関する「家庭でのルールづくり」をお願いしているところです。

携帯電話やスマホ等の所有の状況を把握し、今後の向上運動の充実・改善に役立てるため、町内の小学校4年生から中学校3年生までのお子さんをお持ちの保護者の皆様を対象に、昨年引き続き、7月にアンケートを実施しました。その結果、合計147人（回収率72%）の保護者の皆様からアンケートのご協力をいただきました。また、時期を合わせて児童生徒（小学校4年生以上）にも、保護者と同様のアンケートを実施しました。

アンケートの大まかな集計結果は以下のとおりです。

- 1 **携帯・スマホ等の所有率**・・・小学生は21%（昨年比 -2%）（全国36.6%）  
中学生は37%（昨年比 -4%）（全国51.9%）  
**種類**・・・小学生は機能制限携帯電話、中学生はスマホの所有が多い。
- 2 **インターネットにつながる電子メディアの所有状況**  
小中学生とも約7割の児童生徒が、インターネットにつながる何らかの電子メディアを所有しています。  
所有の多いものは以下のとおりです。  
小学生・・・携帯型ゲーム機（34%）、テレビゲーム機（24%）、  
携帯型音楽プレーヤー（14%）  
中学生・・・携帯型ゲーム機（22%）、携帯型音楽プレーヤー（19%）、スマホ（18%）
- 3 **フィルタリング（閲覧制限）の設定**  
保護者の回答では、「フィルタリングを設定している」のは60%となっていますが、児童生徒の回答では、「フィルタリングを設定している」のは28%、「設定していない」が31%、「わからない」が41%となっています。特に、携帯型ゲーム機や携帯型音楽プレーヤーのフィルタリング（閲覧制限）の設定が少ないようです。
- 4 **家庭でのルールづくり**  
保護者の回答では、「ルールを作っている」のは60%となっていますが、児童生徒の回答では、「ルールを作っている」のは44%に留まっています。  
「ルールを作っている」家庭では、ルールがほぼ守られているようです。
- 5 **テレビやゲーム、インターネットに接続するメディアの利用時間**  
小学生・・・テレビ・DVDを2時間以上利用・・・約50%（土日は約60%）  
ゲーム機を2時間以上利用・・・約15%（土日は約32%）  
中学生・・・テレビ・DVDを2時間以上利用・・・約30%（土日は約50%）  
スマホを2時間以上利用・・・約15%（土日は約17%）

インターネットに接続する電子メディアのルールを作っていない家庭が、4～5割程度あるようです。また、テレビやゲーム、インターネットに接続するメディアを2時間以上利用する児童生徒の割合が、土日のほうが平日より多くなる傾向があります。土日の過ごし方を見直すことが大切です。

携帯型ゲーム機や携帯型音楽プレーヤーなどのメディアも含めて、児童生徒の健康で安全な利用のために、利用時間やフィルタリングの設定など、すべての家庭でネットにつながる電子メディアの利用のルールづくりが必要です。

教育委員会では、今後、保護者を対象に、家庭におけるルールづくりやフィルタリング設定などの講習会を行っていきます。

# 厚真シンポジウムが開催されました！

10月9日から11日の3日間にわたり、「厚真シンポジウム 遺跡が語るアイヌ文化の成立—11～14世紀の北海道と本州島～」が開催され、遠くは宮崎・福岡県などの道内外からのべ約300名の方が参加されました。

参加者は、9日は桜丘・幌内・宇隆地区の遺跡を見学、10日の午前は会場に展示した出土品など約600点の各講師による解説に耳を傾けていました。10日午後から11日のシンポジウムでは、世界文化遺産平泉と北海道の遺跡・遺物が結びつくきっかけとなった宇隆出土の常滑壺をはじめとした厚真の遺跡群・出土品からみえてくる北海道と本州との関係、アイヌ文化への移行について、様々な立場・視点で各分野の第一線で活躍する研究者が講演されました。その中で、一般参加の方から関心を集めていたのが「厚真は本州と北海道の交易のターミナルであった可能性が高く、厚真の遺跡群は仏教が北海道に伝わる時期などを解明する資料となるのではないか」ということでした。私たちが普段思う以上に、厚真町の歴史が熱いまなごしを向けられていることに気づき、厚真町の遺跡・遺物の理解を深めるきっかけとなったのではないのでしょうか。また、参加者は遺跡だけでなく、厚真町の美味しい新米や新ジャガ、ハスカップなども堪能していました。

150席が満席の講演会場▶



## 9月定例教育委員会

9月29日に開催された定例教育委員会の会議の内容についてお知らせします。

### ◆報告事項

平成27年度学校水泳プール利用実績、ショロマ1遺跡体験発掘について、青少年健全育成委員会委員夜間巡回指導など(8件)

### ◆議案

- 議案第1号 厚真町教育委員会委員長の選挙について
- 議案第2号 厚真町教育委員会委員長職務代理の指定について
- 議案第3号 厚真町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部改正について
- 議案第4号 教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について(4件)

### ◆同意

同意第1号 厚真町教育委員会表彰について

### ◆協議事項

平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、厚真町教育振興基本計画について(2件)

### ◆その他

教育委員道内視察研修について、平成27年度教育委員会表彰式、平成27年度教育委員学校訪問について(予定)、平成27年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について(予定)4件)

### ◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

## 新入学児童健康診断のお知らせ

平成28年度に小学校へ入学する町内の児童を対象に健康診断を実施いたしますので、必ず受診するようお願いいたします。

対象となる児童にはすでに案内を送付していますが、まだ案内が届いていない場合や、当日受診できないお子さんがいる場合は、教育委員会へご連絡ください。



### ◆厚真中央小学校への入学予定者

実施日 11月6日【金】  
12時50分～13時00分受付  
会場 厚真中央小学校

### ◆上厚真小学校への入学予定者

実施日 11月10日【火】  
13時00分～13時10分受付  
会場 上厚真小学校

◆受診項目 身長、体重、内科、歯科、視力、聴力、知能検査

◆対象 平成21年4月2日から平成22年4月1日に生まれたお子さん

◆問合せ 教育委員会学校教育グループ  
☎27-2494

【お知らせ】  
知能検査の時間中に、新入学児童の保護者を対象とした子育てに関するセミナーを開催します。ぜひご聴講ください。  
(社会教育グループ)

# 図書室だより

10月27日～11月9日

## 読書週間 2015年標語 いつだって、読書日和

### ☆読書週間とは☆

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、11月17日から23日に第1回「読書週間」が開催されました。

これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。



それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

青少年センター図書室では、期間中11月3日文化の日の図書フェスティバルを中心に、図書展示や古雑誌・古本リサイクル市なども開催いたしますので、ご家族お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

## 11月3日文化の日 図書フェスティバル

### 青少年センター会場

開館時間：午前9時から午後5時まで

○「オペレ」による人形劇

午前10時30分から

○展示「昔懐かし時代劇展」

○大型絵本・しかけ絵本展示

○古雑誌リサイクルコーナー



### 総合福祉センター会場

開館時間：午前9時30分から午後1時まで

○子どもお楽しみコーナー

わなげ、縁日、くじ引き

昔のあそびなど

みんな遊びに  
来てね!!



## 青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「秋の星座とペガサス神話」

秋の日はつるべ落とし…といわれますが、そのとおり日も急に短くなってきました。秋の夜空の道案内役「秋の四辺形」のうちの3つを含む星座、「ペガサス座」。英雄ペルセウスとともに冒険したペガサスにまつわる神話と、秋の夜空についてお話ししていきます。

晴天の場合は引き続き天文台で実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。

とき 11月19日(木) 午後6時30分  
ところ 青少年センター2階

～ATTENTION!～

※夜間プラネタリウム投映会、観望会は夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

※このコーナーへのお問合せは  
社会教育グループ

TEL 27-2495までお願いします。



# 新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

<p><b>一般書</b></p> <p>『食堂のおばちゃん』 山口 恵以子/著</p>  <p>生きていたら大変なこともあるけれど、「はじめ食堂」で、美味しい料理をたべれば、明日の元気がわいてくる! 料理のしぐさも掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストール・チャイルド 緒川 怜/著</li> <li>・プロアクション 今野 敏/著</li> <li>・啼かない鳥は空に溺れる 唯川 恵/著</li> <li>・東京零年 赤川 次郎/著</li> <li>・夏の裁断 島本 理生/著</li> <li>・女神 安部 龍太郎/著</li> <li>・タッグ 日本推理作家協会 /編</li> </ul>	<p><b>児童書</b></p> <p>『おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん』 トル/さく・え</p>  <p>おしり探偵事務所に現れた謎の婦人。先祖の暗号を解いてほしいとの依頼だが…。謎解き探偵読み物シリーズ 第1弾。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワード UMA 騒動 松原 秀行/作</li> <li>・たろ・ダンカン 12 上・下 ワイー・ポウツ=マミエツ/著</li> <li>・ダンボールで作るおもしろ自動販売機 大野 萌菜美/監修</li> <li>・アと雪の女王 瑛カ・デレッド/文</li> <li>・あしながおじさん ジョー・ウェブスター/作</li> </ul>
<p><b>実用書</b></p> <p>『農家が教える 手づくり加工・保存の知恵と技』 農山漁村文化協会/編</p>  <p>ドレッシング、漬物、ジャム、惣菜・燻製…。農家の保存食や加工食品のつくり方を、生活と併せて掲載。また、小さな加工に向く道具も紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アツクグ イッツを志願した男 小林 公二/著</li> <li>・1日3分!指体操で元気な脳になる! 白澤 卓二/著</li> <li>・好印象を与えるママ&amp;パパの子連れマナー 岩下 宣子/著</li> <li>・ダース・ヴェイダーと仲間たち ジェフリー・ブランク/著</li> <li>・異常気象の疑問を解く! 白石 拓/著</li> </ul>	<p><b>絵本</b></p> <p>『せいめいのれきし』 バーズニア・リー・バートン/文・絵</p>  <p>銀河系の誕生から現在のひとびとの生活までを、美しい絵とリズムのある文で紹介します。最新の知見に合わせて見直した改訂版です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスパールこいをする アリ・グットマン/ぶん</li> <li>・ジャッキーつきへいく あいはら ひろゆき/文</li> <li>・おつきみおばけ せな けいこ/作・絵</li> <li>・どっとこどうぶつえん 中村 至男/さく</li> <li>・はずかしがりやのパパくん 岡田 よしたか/作</li> <li>・りんごがひとつ いわむら かずお/作</li> <li>・おさじさん 松谷 みよこ/文</li> </ul>

## ～図書室からのお知らせ～

- 11月の休館日  
11月23日【月】は祝日の為お休みです。
- 青少年センター図書室開館時間  
午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）  
午前9時から午後7時（火・木）
- 厚南会館図書室  
午前9時から午後5時（月～日）
- ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。
- 絵本の読み聞かせ  
おはなしのびっこ 11月26日【木】  
午前10時30分から午前11時

## ■11月の移動図書

6日【金】	上厚真小学校	午前10時35分～10時50分
13日【金】	上厚真小学校	午前10時10分～10時25分
18日【水】	ともいき荘	午後2時00分～2時30分
20日【金】	上厚真小学校	午前10時10分～10時25分
27日【金】	上厚真小学校	午前10時10分～10時25分

# ☆放課後子ども教室☆

秋も深まり、木々の葉も赤や黄色に衣替え。気温もぐっと下がり、日が暮れるのも日に日に早くなっていきます。子どもたちも厚手のジャンパーを着てくるようになりました。冬に向かって少しずつ季節が進んでいく寂しさを感じますが、この時期にしか出会えない楽しみも知っている子どもたち。今日も元気に外に駆け出していきます。

小さい秋を探しに学校周辺の散歩に出かけました。ふわふわのススキの穂、色とりどりの葉っぱや野の花、大小さまざまな大きさのキノコ。秋は子どもたちの好奇心をくすぐる素敵なものに出会えます。そして、子どもたちが毎年、楽しみにしているコクワの実を今年もみんなで探しに行きました。見上げた木の上にかくさん実ったコクワを発見。「あった！」と子どもたちの目も輝きます。そして、手の届かないところに生っているコクワの実をどうやって落とすかを考えます。つるをゆすったり、木の棒でたたいたり、「こうすればできるかもしれない」と自分の頭で仮説を立て、実際にやってみる。うまくいかなかったところは修正してもう一度チャレンジする、という学びが遊びの中から生まれています。



実りの秋、収穫の秋。今年も稲刈りの季節を迎えました。春にみんなで田植えをした田んぼでも、黄金色の稲が風に揺れています。放課後食育プログラム「あつまっ子ふるさと体験教室」今年度2回目と3回目のプログラムを10月3日（土）、10日（土）の2週にわたって開催しました。2回目の活動は、収穫祭と稲刈りです。収穫祭では、厚真産の食材（トマトやシイタケなどの野菜、あづま成吉思汗など）を使ったピザづくり。午後からは、農協青年部のみなさんと一緒に稲刈り体験をしました。ピザの生地に使った「春よ恋」という小麦粉の穂の実物を見せてもらったり、茶わん1杯分のお米の量を考えるクイズなどをして楽しんだあとはお待ちかねの稲刈りです。子どもも大人も真剣に作業をすること1時間半。約1反の田んぼに植わった稲穂を刈りとりました。稲刈りのあとは子どもたちが作ったピザをおやつにお互いの労をねぎらいました。



稲刈りの翌週は、あつま新鮮組が主催する厚真町のPRイベント・特産市で特産品の販売体験を行いました。厚真産のお米でつくったパンやシフォンケーキ、とれたての野菜、おふくろ味噌などの加工品を販売するお手伝いです。これまでの食育プログラムや、あつまっ子カフェといった町内で体験してきたことを活かし、大きな声でお客さんに声をかけたり、商品の良さをアピールしたり、予想以上にみんな一生懸命頑張りました。新鮮組の方からも「子どもたちが一緒にいてくれると、お客さんも立ち止まって目をとめてくれて良かった」と子どもたちのチカラが役に立ったと評価していただきました。子どもたちもやりきった達成感を感じていたように思います。こうした活動を通して、子どもたちのチカラを地域に還元する仕組みを作っていきたいと思っています。

